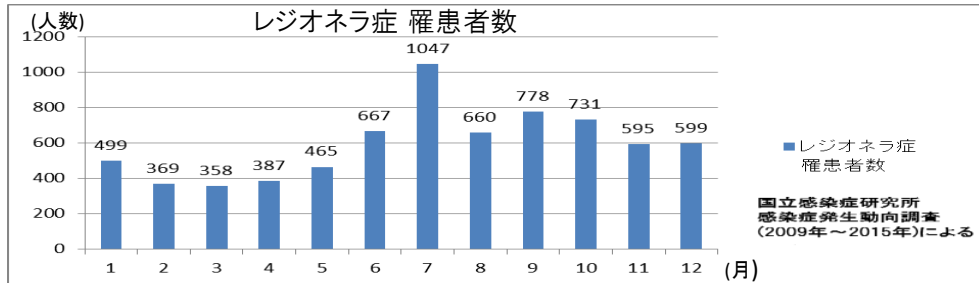


## レジオネラ属菌 遺伝子検査

### ○ レジオネラ症は7月に患者数が増大する

国立感染症研究所が公表している感染症発生動向調査によると、7月のレジオネラ症患者数は他の月の平均と比較して約2倍と突出して多くなっています。レジオネラ症への一層の対策が必要となります。



レジオネラ症は主に浴槽やプール、冷却塔等の循環設備で繁殖したレジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(液体の微粒子)を吸引する事によって感染します。レジオネラ症は重症化すると多臓器不全を起こし、死亡するケースも報告されており、特に注意が必要です。

## レジオネラ属菌 遺伝子検査について

弊社では、いち早く『レジオネラ属菌の遺伝子検査(LAMP法)]を実施しております。迅速な結果対応を求められる際、お役に立っております。公定法ではレジオネラ属菌の培養が必要な為、検査終了まで5日から10日ほど要します。しかし、遺伝子検査(LAMP法)は、翌日には結果をお伝えする事ができます。

### 【特長及び注意点】

- 結果を早く知る事が出来る為、迅速な対応を実施できます。
- レジオネラ属菌が存在するかどうかを把握できます。(菌数の確認はできません)
- 生菌、死菌共に検出する為、遺伝子検査で陽性でも公定法で陰性となる場合があります。

遺伝子検査は公定法ではありませんが、緊急性を要する場合や清掃後の衛生状態の確認など循環設備や冷却塔等の管理に有効です。検査の際には、最寄りの各営業所までご相談ください。

レジオネラ症防止の為には、施設の衛生管理を徹底する必要があります。下記の情報をご参照ください。

厚生労働省 レジオネラ対策のページ

(<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/seikatsu-eisei25/>)



月刊東洋154号 ~温泉・浴槽施設でのレジオネラ属菌汚染防止~

(<http://www.let-toyokankyo.com/toyo/newspaper154.html>)



認定番号 84226  
ISO/IEC17025:2005認定  
認定範囲: 環境検査所



JWWA-GLP122  
水道GLP認定  
認定範囲: 環境ラボ

◇企画・製作◇  
東洋環境分析センター  
企画・販促委員会

<http://www.let-toyokankyo.com>

弊社社員ブログ更新中です!

是非ご覧下さい!

